

# 中国語教育学会会報

第47号(通巻72号) 2016年5月25日発行

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1番1号

大阪府立大学 高等教育推進機構

清原文代研究室内

中国語教育学会

Website <http://www.jacle.org/>

Email [headoffice@jacle.org](mailto:headoffice@jacle.org)

郵便振替口座 00110-1-191152

## 目次

1. 会長挨拶
2. 新役員紹介
3. 委員紹介、研究会担当紹介
4. 中国語教育学会第14回全国大会について
5. 事務局からのお知らせ(事務局移転、新入会員、会費納入のお願い、住所等変更届ほか)

### 1. 会長挨拶 清原文代

この4月から平井和之会長の後を受けて2016~2017年度の会長職をお引き受けすることになりました大阪府立大学の清原文代です。“学浅才疏”の身ではありますが、この2年間、会員の皆様には中国語教育学会の会員で良かったと感じていただけるような学会、非会員の方々には中国語教育学会に入りたいと思っていただける学会を目指して努力する所存です。以下現在考えていることを述べます。

#### (1) 共有、“share”、“共享”、中国語教育に携わる者が集う共同体としての学会

新学期が始まってまもなくして私の勤務校の教務課から、今年の新入生の第二外国語の中国語の選択者数が送られて来ました。日中関係の悪化に伴い減少を続けていた中国語の受講者数は、どうやら去年で下げ止まり、今年微増に転じたようです。ただ、以前の最も多い時の水準からは遠い状態です。私が中国語を学び始めた1980年代とは異なり、現在では日本の街中で中国語を耳にすることはもはや珍しいことではありません。世の中には中国に関する情報がたくさんあります。しかし、中国語や中国文化に対する理解が1980年代より進んだのかと問われると、少なくとも私は「はい」とは答えられません。学習者の学習を支援する中国語教員の存在は以前にもまして重要です。日本と中国は“一衣帯水的邻邦”です。今後日本の社会の様々なところで中国語を使う機会が増えていくでしょう。科学的な中国語教育研究を行うことは勿論不可欠で本学会の大きな柱ですが、それと同時に、中国語教員を目指す方はもとより、中国語教育に携わる方が学校の種別や立場を越えて集い、より良い中国語教育を目指し互いの経験や智慧を交流する場をもう少し増やせたらと考えています。会長をお引き受けする前の話ですが、昨年12月に関西大学で開催した中国語教育学会研究会はそういう意図で企画しました。研究会では講演の後に参加者によるグループ討論や全体討論を行いました。特にワールドカフェ方式

のグループ討論はたいへん盛り上がっていたと思います。前半の講演については講演者の許諾を取って動画をネット公開しました(学会サイトの「研究会・講演会」→「これまでの研究会」のページから動画へのリンクが貼られています)。

### (2) 学会ウェブサイトのリニューアルと情報発信の強化

最近インターネット接続はもっぱらスマートフォンで行うという人が若い世代を中心に増えていますが、現在の学会ウェブサイトはスマートフォンではやや見づらいレイアウトになっています。現在使用しているレンタルサーバも手狭になってきました。詳しくは6月の全国大会初日の総会でご報告申し上げますが、デジタルリソース委員会を設置し、学会ウェブサイトのリニューアルとともに、ウェブサイトや会員宛メールを通じた情報発信の強化に取り組みます。

リニューアルに当たっては数日間学会ウェブサイトにはアクセスできなくなったり、学会事務局宛のメールが届かなくなることがあります。リニューアルは6月の全国大会の後に予定しておりますが、具体的な期日が決まりましたら、メールにてお知らせする予定です。メールアドレスを事務局に届けていらっしゃる方、或いはメールアドレスに変更があった方は、ぜひ「登録情報変更届」(下記「5.4住所変更等について」参照)を用いて学会事務局までお知らせください。

### (3) 事務局業務の外部委託

本学会の会員数は約500名、会長と幹事が日常の授業や校務の合間に事務局業務を行える範囲を越えつつあります。学会財政を極端に悪化させることは避けねばなりません。いくつかの業務は外部委託するなどして事務局の負担を減らしていかないと、今後の永続的発展的な学会活動は見込めないと考えています。有り体に言ってしまうと、私は歴代会長の中で使える“リソース”が最も少ない会長でしょう。その私でも事務局業務がマネジメントできる体制を目指します。

上記のようなことを実現するためには、理事各位のご協力はもちろん、会員の皆様のご協力が欠かせません。どうか一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 2. 新役員紹介 (2016年4月～2018年3月)

昨年末に行われました選挙において得票数10位以内の方に加えて、内規に基づき地域や勤務先のバランス等を考慮して更に9名の方に理事をお願いすることにいたしました(選挙結果につきましては会報第46号をご覧ください)。手続きとしては、6月の全国大会初日に開催される会員総会の承認を経て正式に決定します。

(以下五十音順、敬称略)

顧問：興水優、佐藤富士雄、依藤醇

会長：清原文代

代表理事：荒川清秀、郭春貴、平井和之、古川裕、三宅登之

理事：相原茂、植村麻紀子、内田慶市、加藤晴子、胡興智、佐々木勲人、鈴木慶夏、陳淑梅、

中西千香、西香織、藤井達也、丸尾誠、村上公一、山田眞一

幹事：中田聡美、氷野善寛

会計監査：紅粉芳恵、森宏子

### 3. 委員紹介、研究会担当紹介

(以下五十音順、敬称略)

#### 『中国語教育』第15号(2016年度)編集委員会

植村麻紀子、大西博子、勝川裕子、鈴木慶夏、薛鳴、豊嶋裕子(委員長)、平井和之、魯曉琨

#### 第14回全国大会(2016年度)準備委員会

伊藤大輔、桑野弘美、島田亜実、平井和之(委員長)、丸尾誠

第14回全国大会(日本大学文理学部)の発表題目については、下記「4. 中国語教育学会第14回全国大会について」をご覧ください。

#### 研究会担当(2016年度)

東日本担当：平井和之(日本大学)、村上公一(早稲田大学)

西日本担当：清原文代(大阪府立大学)、中西千香(愛知県立大学)、

中国語教育学会は年に数回(不定期)、日本各地で研究会を開催しています。研究会での発表を希望される方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください。

研究会担当メールアドレス(平井・村上)：kanto@jacle.org

研究会担当メールアドレス(清原・中西)：kansai@jacle.org

### 4. 中国語教育学会第14回全国大会について

2016年6月4日(土)～5日(日)に第14回全国大会が日本大学文理学部(東京都世田谷区桜上水3-25-40)にて開催されます。1日目にはシンポジウム、会員総会、懇親会等が、2日目には研究分科会が開かれます。詳細については既に全国大会準備委員会より送付済みの参加案内をご覧ください。皆様どうぞ奮ってご参加ください。主な発表内容は以下の通りです。

#### 1日目(6月4日)シンポジウム 読解教育をめぐって

- |               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| ・平井和之(日本大学)   | 趣旨説明：初期段階での読解教育の必要性和可能性          |
| ・三瀧正道(麗澤大学)   | 読解力養成への試み—現代白話書面語(論説体)への取り組みを中心に |
| ・松本朝子(日中学院)   | 日本語教育における読解と中国語読解教育の異同、誤用の比較     |
| ・大宅利美(中央大学・非) | ピア・リーディングの実践報告—第二外国語中級を中心に       |

2日目（6月5日）研究分科会

研究発表	
孫雲偉（大東文化大学・院）	民国時代北京語教科書における反切注音の一考察
松本洋子（外務省研修所・非）	舌最高位を基準にした基本母音の表示についての考察 －u[u]、e[ɤ]の指導に関連して
顧令儀（愛知県立大学）	从教学角度看“无论…都…”与“无论…也…”的区别
小川典子（大阪大学・院）	中国語学習者の語構成に対する意識調査
曲明（室蘭工業大学）	日本人大学生の中国語学習者を対象にしたスピーキングテストの 評価尺度の開発
鈴木慶夏（釧路公立大学）	第二外国語初級段階で最初に学習する“了” －処方的アプローチによる導入形式の選択
張恒悦（大阪大学）	「同類」を表す“也”と“も” －日本語母語話者が産出した誤用例の分析を通して
謝平（立命館大学）	主体名詞の位置について考える一場面文を例に
佐藤富士雄（中央大学名誉教授）	“NP的VP”フレーズの研究はどこまで進んだか？
薄宏（桜美林大学）	中国語の疑問助詞－「呢？」の本質的な意味についての考察
教育実践報告	
永江貴子（拓殖大学）	中国語自律学習を促す試み －中検Webを用いたe-Learningをサンプルとして
樂大維（拓殖大学・非）	透過日本對外漢語教材探討普通話與臺灣華語之異同
吉田慶子（大東文化大学）	通訳訓練法の語学教育への運用の試み
康鳳麗（鈴鹿医療科学大学） 森脇健夫（三重大学） 坂本勝信（常葉大学）	「絵単語」を使った中国語初級指導の効果
上原徳子（宮崎大学）	中国語現地研修における学生の学習過程について
篠原征子（北九州市立大学・非）	“汉语5分钟”－アクティブラーニングの実践（その2）
侯仁鋒（県立広島大学） 今井新悟（筑波大学）	コンピュータ適応型中国語テストについて
周建中（東京成徳大学）	練習問題の正解合わせ・小テストと資格模擬テストの実施などによる達成感と自信・意欲を向上させる試み
張彤（上智大学）	言語学習と異文化理解をいかに融合させるか －内容言語統合型授業の試み

## 5. 事務局からのお知らせ

### 5.1 事務局移転について

会長交代にともない、事務局を以下に移転しました。

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号

大阪府立大学 高等教育推進機構 清原文代研究室内

中国語教育学会事務局

E-mail : headoffice@jacle.org (変更ありません)

電話・faxによるお問合せは受け付けておりません。あしからずご了承ください。

### 5.2 新入会員について

2016年4月30日現在の会員数は476名（内顧問・名誉会員23名、住所不明者4名）です。  
なお会報第46号発行時（2016年2月1日）以降の新入会員は以下の通りです。

草原理恵（日本高速輸送株式会社）、工藤真理子（目白大学）

（公財）国際文化フォーラム、太田匡亮（大阪大学・院）

また以下の方々の住所等が不明です。御存知の方は事務局までお知らせください。

宋曉蓮、孫珊珊、鄭立民、李孟娟

### 5.3 会費納入について

2016年度分までの会費納入用の払込票を同封いたしました。お早めに納入くださるようお願い申し上げます。特に払込票記載の金額が15,000円以上の方は大至急納入ください。会則第5条により2年間にわたり納入のない場合は、3年目に会員資格を失うことになります。

### 5.4 住所変更等について

昨年度末『会員名簿』が発行され、その作成に際して作成用資料をご返送いただきましたが、これはあくまで『会員名簿』のみに反映されるものです。事務局が各種の送付物等をお送りする際に利用している「原簿」は入会時にお届けいただいた情報をもとに作成しておりますので、お手をかけて申しわけありませんが、住所等に変更がありましたら、『会員名簿』作成時にご提供いただいた情報とは別に「登録情報変更届」をお送りくださいますようお願いいたします。また、4月から新年度が始まり、ご所属・ご住所・メールアドレス等が変更になった方もいらっしゃると思います。

いずれも必ず「登録情報変更届」を用いて、学会事務局までご連絡下さいますようお願いいたします。「登録情報変更届」は学会ウェブサイト<<http://www.jacle.org/>>の「各種届出書」のところにございます。

## 5.5 各種情報提供のお願い

中国語教育に関連する催し物（スピーチコンテスト・シンポジウム等）の情報がございましたらお知らせください。本会ウェブサイトに掲載し、周知の一助とさせていただきます。